

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門		総務-15 車両管理事務				
主管課	管財課	関連課	各クリーンセンター・環境保全課・消防本部				
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	公用車両等の適正な維持管理を行い、市事務事業の効率的な運用に寄与する。 交通事故の防止と安全運転の励行を図る。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	22,097	19,212	29,394			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	22,097	19,212	29,394			
	人員配置数	6.4	5.4	8.3			
	人件費(千円)	54,376	46,100	74,315			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	76,473	65,312	103,709			
	市民1人当りの経費(円)	432	369	587			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
貸出軽自動車増車	◎	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	1台	0台	0台		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
車両管理事務	22,097千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	公用車の配車・購入・修繕及び事故処理業務			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	公用車による交通事故防止を徹底する。職員数の削減に伴い事務効率を高めるため、車両管理事務の見直しを実施する。特殊業務以外における専任運転手による運転業務の廃止と交通事故を防止する。
課題解決のための取組	貸出軽自動車の予約システムを構築した。
未解決の課題	特殊業務以外における専任運転手による運転業務の廃止と公用車で交通事故の発生。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
				職員数減に対応して、運転業務の委託化や車両購入業務・車両修繕業務・保険契約業務を各部総務課や原課に移行し分散化すること及び普通車の貸出し・リース車両の導入を検討していきたい。また、職員の啓発等、公用車で交通事故防止に向けた取り組みを行っていきたい。	課長等名 課長(代理) 高宮 淳

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
車両管理事務	214	車両管理事務	26,883	22,097	■適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり